

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組	1.	1.	1.	1.	1.	1.		
(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
①想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表	①	①	①	①	①	①		
							●避難場所・避難経路等の設定について支援の必要がある ●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない	A B C
②家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	②	②	②	②	②	②		
							●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない	B C
③洪水ハザードマップの作成	③	③	③	③	③	③		
							●避難場所・避難経路等の設定が必要である ●災害時の具体的な避難支援や避難誘導体制の確立が必要である ●広範囲が浸水する場合等を想定し、近隣市町等の避難場所への広域避難や経路についても事前に検討・調整しておく必要がある ●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●想定最大規模降雨等により発生する洪水による氾濫に対する避難確保計画、避難支援計画が作成されていない ●近隣市町も同程度の被害規模となるおそれがあるため、広域避難に関して県レベルでの調整が必要となる可能性がある	D E F B G H
④まるごとまちごとハザードマップの作成と周知	④	④	④	④	④	④		
まるごとまちごとハザードマップの作成と住民への周知							●災害時の具体的な避難支援や避難誘導体制の確立が必要である	E
⑤住民等が避難行動を行うためのセミナー等の開催及び重要水防箇所等についての共同点検	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤		
出水期までに水防連絡会にて市長以下関係者でセミナー等を実施							●想定最大規模降雨等による洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない ●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、迅速かつ正確な洪水時の情報共有が必要である	I J
⑥効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥		
チラシ・web等による広報・周知							●想定最大規模降雨等により発生する洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない	I
⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識・社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦		
小中学生や自主防災会等を対象に洪水被害の歴史や身を守るために市等の対策等について出前授業を実施							●想定最大規模降雨等による洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない(I) ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である(K) ●要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防に対する意識が万全とは言えない(L)	I K L

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
⑧住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧		
				那賀町木頭出原にライブカメラ設置し、洪水時、ケーブルテレビで配信 プッシュ型情報配信を実施 河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	気象情報・警報・注意報、洪水予報等の情報をweb・報道機関を通じて 住民へ情報提供 自治体や関係行政機関への情報提供 気象庁webによる防災情報	那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像の常時配信、防災情報メール配信サービス、川の防災情報による情報提供 情報をwebや報道機関を通じて発信	●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である	C M N K
防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	緊急速報メール・防災行政無線の利活用	河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信（職員、消防団）、緊急速報メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、リエゾンやダム管理者等からの情報を、ケーブルテレビのチャンネルで河川監視カメラの映像に重せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認					
⑨長安口ダム操作に関する関係機関等への周知	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨		
	毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	毎年、長安口ダム放流警報周知会に参加	毎年出水期までに関係機関を対象とした長安口ダム放流に関する周知会を実施		●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である	K
(2)情報伝達、避難計画等に関する事項	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		
①氾濫が発生した場合、浸水区域となる地区名まで表示した洪水予報文の改良及び洪水予報文等の伝達等	①	①	①	①	①	①		
				那賀川河川事務所と気象台での演習を実施 氾濫が発生した場合の発表の対象区域や避難の切迫性等が市町長や住民に確実に伝わる浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良	氾濫が発生した場合の発表の対象区域や避難の切迫性等が市町長や住民に確実に伝わる浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良 那賀川河川事務所と気象台での演習及び伝達を実施	●想定最大規模降雨等により発生する洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない	I	
②想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域図の指定及び浸水シミュレーションの公表	②	②	②	②	②	②		
					想定最大規模降雨による洪水を対象とした浸水想定区域をH28.5告示、事務所webにて公表		●避難場所・避難経路等の設定について支援の必要がある ●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない	A B C
③想定最大規模降雨等による洪水を対象とした家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	③	③	③	③	③	③		
					想定最大規模降雨による洪水を対象とした家屋倒壊氾濫想定区域をH28.5事務所webにて公表		●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない	B C
④住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	④	④	④	④	④	④		
				那賀町木頭出原にライブカメラ設置し、洪水時、ケーブルテレビで配信 プッシュ型情報配信を実施 河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	気象情報・警報・注意報、洪水予報等の情報をweb・報道機関を通じて 住民へ情報提供 自治体や関係行政機関への情報提供 気象庁webによる防災情報	那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像の常時配信、防災情報メール配信サービス、川の防災情報による情報提供 情報をwebや報道機関を通じて発信	●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である	C M N K
防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	緊急速報メール・防災行政無線の利活用	河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信（職員、消防団）、緊急速報メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、リエゾンやダム管理者等からの情報提供、ケーブルテレビのチャンネルで河川監視カメラの映像に重せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認					

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
(5)洪水時における迅速かつ的確な情報提供等	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤		
	災害発生のおそれがある場合は、那賀川河川事務所長から阿南市災害対策本部長(通常は阿南市長)に情報伝達有り		災害発生のおそれがある場合は、那賀川河川事務所長から那賀町災害対策本部長(通常は那賀町長)に情報伝達有り	災害発生のおそれがある場合は、阿南市、那賀町に情報伝達を実施	災害発生のおそれがある場合は、タイムラインの各段階において那賀川河川事務所長から阿南市長・那賀町長にホットラインを実施		<ul style="list-style-type: none"> ●想定最大規模降雨等による洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない ●水位等のデータ欠測時における対応を充実させる必要がある ●水位予測を迅速に情報提供する必要がある 	I P Q
	災害発生のおそれがある場合は河川管理者より派遣されたリエゾンにより情報の伝達・収集を実施		災害発生のおそれがある場合は河川管理者より派遣されたリエゾンにより情報の伝達・収集を実施	多数の人的被害、住家被害等が発生又は相応の被害を被るおそれがあるとき、災害対策南部支部長等の指示により、市町へ県職員を派遣	災害発生のおそれがある場合はリエゾンを市町に派遣し情報の伝達・収集を実施			
(6)避難勧告等の発令基準の作成検討	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥		
				那賀町の避難勧告に着目し計画規模等洪水を対象とした事前防災行動計画(タイムライン)を作成	ホットラインによる今後の現象の見込みなどの解説	阿南市の避難勧告に着目し計画規模等洪水を対象とした事前防災行動計画(タイムライン)を作成	<ul style="list-style-type: none"> ●避難勧告等判断・伝達マニュアルに具体的に避難勧告等の発令を記載したり、タイムラインの精度を引き続ぎ向上させる必要がある ●想定最大規模降雨等により発生する洪水に対するタイムラインが作成されていない ●想定最大規模降雨を対象とした洪水を踏まえたリードタイム設定時間検討の必要がある ●要配慮者施設と連携し、想定最大規模降雨等により発生する洪水に対応できる避難確保計画等を地域防災計画に位置付ける必要がある 	R S T U
	阿南市の避難勧告等判断伝達マニュアルを作成し、災害種別毎、避難勧告等の発令基準を策定。洪水についてはタイムラインを基準としているが台風時など、立ち退き避難を容易にするため早めの避難情報発令の基準も設定	避難勧告等の発令に関する基準を策定、地域防災計画に具体的な避難勧告等の発令に関する基準を定め、具体的な避難勧告の発令基準や対象地域を明記	タイムラインの見直しにより、避難勧告等の発令に関する基準を定め、具体的な避難勧告の発令基準を明記					

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
(3)円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)		
①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	①	①	①	①	①	①		
				那賀町木頭出原にライブカメラ設置し、洪水時、ケーブルテレビで配信 プッシュ型情報配信を実施 河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	気象情報・警報・注意報、洪水予報等の情報をweb・報道機関を通じて住民へ情報提供 自治体や関係行政機関への情報提供 気象庁webによる防災情報	那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知啓発を行い、利用者の拡大が必要である ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知啓発を行い、利用者の拡大が必要である	C M N K	
防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	緊急速報メール・防災行政無線の利活用	河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信（職員、消防団）、緊急連絡メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、エゾソンやタム管理委等からの情報を、ケーブルテレビのチャンネルで河川監視カメラの映像に載せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認					
②円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	②	②	②	②	②	②		
				無堤地区の那賀町和食地区で堤防を整備中 那賀川の支川（宮ヶ谷川）では、宅地嵩上げ方式による整備を実施中 木頭出原地区では、河道拡幅を実施中		無堤地区である加茂地区の堤防の整備にH27より着手		
						那賀川直轄管理区間の漏水対策に係る検討を実施中		
				流下能力に支障が生じないように、流下を阻害する樹木の伐採を実施		流下能力に支障が生じないように、流下を阻害する樹木の伐採を実施		
				流下能力に支障が生じないように、流下を阻害する局所的な堆積土砂撤去を実施		流下能力に支障が生じないように、流下を阻害する局所的な堆積土砂撤去を実施		
						長安口ダムの洪水調節能力向上等のため改修事業を実施中		
						長安口ダムの有効貯水容量の減少を抑えるため堆砂対策を実施		
③水位計・CCTV等の整備	③	③	③	③	③	③		
				水位計の整備		無堤地区等の実水位把握のための水位計等の整備		
				CCTVカメラ等の設置		重要水防箇所等の監視を踏まえた那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTVカメラの設置・更新		
						●整備の配置計画を検討する必要がある ●水位等のデータ欠測時における対応を充実させる必要がある ●那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある	Y P M	

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組	2.	2.	2.	2.	2.	2.		
(1)水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		
①連絡体制の確認と情報共有の強化	①	①	①	①	①	①		
分団幹部研修で図上訓練を実施しており、今後も情報伝達訓練を実施	毎年情報伝達網の確認			河川管理者と水防団等との重要水防区域点検時等において、連絡体制を確認 常時、河川パトロール実施者(阿南庁舎、非常勤職員、那賀庁舎、委託契約業者)から状況報告		河川管理者と水防団等とのそれぞれの河川巡視等で収集した情報の共有 毎年出水期前に特別巡視訓練等を実施	●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、迅速かつ正確な洪水時の情報共有が必要である ●避難誘導等を迅速・的確に行う必要がある ●水防活動に従事する水防団等の安全確保が必要である	J Z AA
台風前に樋門操作人に情報提供し、連絡体制を確認			年度当初等に、樋門操作人と避難が必要なとき等について確認		樋門操作人と連絡体制の強化及び避難判断基準等の確認			
②重要水防箇所等について水防団等と共同点検	②	②	②	②	②	②		
毎年出水期前に重要水防箇所の共同点検を実施 毎年研修会及び幹部会を開催し意見交換を実施			毎年出水期までに河川管理者(徳島県)、那賀町、消防署、水防団等関係者で、重要水防箇所等の点検を実施 毎年数回幹部会を開催し意見交換を実施	重要水防区域の点検を実施 水防団等との意見交換を適宜実施		毎年出水期前に重要水防箇所の共同点検を実施 水防団等との意見交換を毎年実施	●想定最大規模降雨等による洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない ●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、迅速かつ正確な洪水時の情報共有が必要である ●避難誘導等を迅速・的確に行う必要がある ●水防活動に従事する水防団等の安全確保が必要である	I J Z AA
③水防団の円滑な水防活動を支援するため重要水防箇所の精査・見直し	③	③	③	③	③	③		
				毎年出水期前に実施		毎年出水期前に実施	●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、迅速かつ正確な洪水時の情報共有が必要である ●水防活動に従事する水防団等の安全確保が必要である	J AA
④自主防災組織等の水防活動への参画を促進し、関係機関が連携した水防訓練の実施	④	④	④	④	④	④		
水防工法訓練に参加			浸水地域の自主防災組織が夜間避難訓練を毎年秋に実施	水防工法訓練に参加		水防団等の団員内に、水防工法の訓練を実施	●想定最大規模降雨等による洪水の浸水想定区域を指定しているものの、住民等への周知・教育・訓練が不十分で、堤防が決壊した場合の状況や防災情報の持つ意味について十分理解されていない ●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、迅速かつ正確な洪水時の情報共有が必要である ●避難誘導等を迅速・的確に行う必要がある ●水防活動に従事する水防団等の安全確保が必要である	I J Z AA

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
(5)円滑かつ迅速な避難に資する施設(ハード)整備	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	<p>●無堤地区的存在、有堤区間ににおいても洪水時に漏水が発生する箇所の存在、洪水により堤防を越水する可能性がある箇所の存在を考慮すると洪水による氾濫のおそれがあり、円滑且つ迅速な避難に資する施設整備が必要である ●長安口ダムの洪水調節機能向上を図る必要がある ●長安口ダムの機能を維持するため堆砂除去を継続的に実施する必要がある</p>	V W X
				無堤地区的那賀町和食地区で堤防を整備中 那賀川の支川(宮ヶ谷川)では、宅地嵩上げ方式による整備を実施中 木頭出原地区では、河道拡幅を実施中		無堤地区である加茂地区的堤防の整備:H27より着手		
						那賀川直轄管理区間の漏水対策を実施中		
				流下能力に支障が生じないように、 流下を阻害する樹木の伐採を実施		流下能力に支障が生じないように、 流下を阻害する樹木の伐採を実施		
				流下能力に支障が生じないように、 流下を阻害する局所的な堆積土砂撤去を実施		流下能力に支障が生じないように、 流下を阻害する局所的な堆積土砂撤去を実施		
						洪水調節能力向上等のため改造事業を実施中		
						長安口ダムの有効貯水容量の減少を抑えるため堆砂対策を実施		
(6)住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	<p>●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV映像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である</p>	C M N K
				那賀町木頭出原にライブカメラ設置し、洪水時、ケーブルテレビで配信 プッシュ型情報配信を実施	那賀川河川事務所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV映像の常時配信、防災情報メール配信サービス、川の防災情報による情報提供	那賀川河川事務所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV映像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある		
				河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である		
				ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信(職員・消防団)、緊急連絡メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、ケーブルテレビでのキャナルで河川監視カメラの映像に載せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認	ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信(職員・消防団)、緊急連絡メール、広報車による周知、災害時情報共有システムへの情報提供、那賀川河川事務所長から那賀町長へのホットライン、ケーブルテレビでのキャナルで河川監視カメラの映像に載せて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認	●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である		
(7)河川水位等に係る情報提供	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	<p>●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV映像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である</p>	C M N K
(8)水防資機材の整備	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	<p>●河川管理者は、洪水時にリスクが高い箇所として重要水防箇所を設定後、水防団等と共に、出水期前の巡視・点検などを実施しているが、より的確に水防活動が行われるよう、水防活動に必要な資機材に係る情報の共有及び資機材の量等について検討が必要である</p>	O

現状の水害リスク情報や取組状況の共有について

具体的な取組の柱 事項	阿南市	小松島市	那賀町	徳島県	徳島地方気象台	四国地整	課題	アルファ ベット
具体的な取組	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容	実施内容		
(2)要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	①	①	①	①	①	①		
				那賀町木頭出原にライブカメラ設置し、洪水時、ケーブルテレビで配信 河川水位の情報を徳島県県土防災情報管理システムや報道機関を通じて発信	気象情報・警報・注意報、洪水予報等の情報をweb・報道機関を通じて住民へ情報提供 自治体や関係行政機関への情報提供 気象庁webによる防災情報	那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像の常時配信、防災情報メール配信サービス、川の防災情報による情報提供 情報をwebや報道機関を通じて発信	●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●那賀川河川事務所所管の那賀川・桑野川河川管理用CCTV画像をwebで提供しているが、住民の避難行動の判断に必要な箇所の提供画像を順次拡大する必要がある ●大雨・暴風により防災行政無線が聞き取りにくい状況にある ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である	C M N K
防災無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム等の活用 適時の避難勧告等の発令には川の防災情報での河川水位の把握、洪水時は主に徳島県県土防災情報管理システムをモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	緊急速報メール・防災行政無線の利活用	河川水位の把握のため、洪水時は徳島県県土防災情報管理システム、川の防災情報をモニターし、各河川の水位現況及び水位上昇速度を確認	ケーブルテレビや防災行政無線による告知端末や屋外放送設備で避難勧告等の放送、那賀町災害情報メール配信（職員・消防団）、緊急連絡メール、広報車による届知、災害時情報共有システムへの情報提供、ケーブルテレビ文字情報配信、那賀川河川事務所長から那賀町長のホーリング・リソソやダム管理者等からの情報提供、ケーブルテレビやスマートフォンで河川監視カメラの映像（監視）させて放映し、住民に情報提供、川の防災情報や徳島県県土防災情報管理システムにより、長安口ダムの流入・放流量や浸水地域の水位データを確認					
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動及び支援	②	②	②	②	②	②		
					想定最大規模降雨による洪水を対象とした浸水想定区域をH28.5告示、事務所webにて公表			A B C AD K L G
					想定最大規模降雨による洪水を対象とした浸水ナビをH28.5本省webにて公表			
				出前講座を実施	出前講座を実施	出前講座を実施	●避難場所・避難経路等の設定について支援の必要がある ●自治体が作成する洪水ハザードマップの作成支援を実施する必要がある ●住民等が避難行動を決断するために必要な浸水シミュレーション等の情報が十分に発信されていない ●大規模工場等の自衛水防に係る取組が十分でない ●災害時に国・県・市・町においてwebやメール配信による情報発信を行っているが、一部の利用にとどまっているため、広く周知・啓発を行い、利用者の拡大が必要である ●要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防に対する意識が万全とは言えない ●想定最大規模降雨等により発生する洪水による氾濫に対する避難確保計画、避難支援計画が作成されていない	
3. 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用等の強化の取組	3.	3.	3.	3.	3.	3.		
①排水施設、排水資機材の操作・運用等	①	①	①	①	①	①		
				排水ポンプ車や排水資機材は平常時から定期的な保守点検を実施し、災害発生時の出動体制を確保 関係機関と連携し毎年度排水ポンプ車による訓練を実施 排水施設については、定期的な保守点検、操作方法等の確認を行い、災害発生時の稼働体制を確保	排水ポンプ車や照明車等の災害対策車両・機器は平常時から定期的な保守点検を行うとともに、機械を扱う職員等への訓練・教育も実施し、災害発生時の出動体制を確保 排水施設についても、定期的な保守点検、操作訓練等を実施し、災害発生時の稼働体制を確保		●排水施設、排水ポンプ車の点検、訓練を実施しているが、大規模氾濫後の排水計画が未作成であるとともに、他地盤等から支援されるポンプ車等資機材の受援計画が未作成である ●堤防整備に伴い、内水被害の発生が懸念される	AB AC
排水施設については国、県からの指導を得ながら運用 排水ポンプについては内水発生地区において災害時、国又は県に出動を要請	市内に排水機場、雨水ポンプ場等（県・市他管理）を設置しており、内水の上昇により排水を実施	現在のところ、浸水被害が起きても、本川の流量が減ればたちまち水は引くため、排水施設の設置はない	災害発生時においては排水機場及び排水ポンプ車等の排水施設等を迅速に稼働する体制を確保	災害発生時においては排水機場及び排水ポンプ車等の排水施設等を迅速に稼働する体制を確保				